

仁田桂次郎 ねいたけいじろう 英學者。安政五年六月四日(1828)に田村生
れ、明治二十四年二月に自殺(一八九一)。號義野野史、清涼。明治
五年小田原英學校に學ぶ。七年慶應義塾に入學、同窓に尾崎行雄が
いた。九年東京府商法講習所を轉ずると、病を獲て退く。爾來療養の傍
ら著述、翻譯に従事。シェーンクスピア最初期の譯者。

著譯書に、『肺癆法論』(第一篇)、『明治十四年九月自殺』、『聖書物
語』(小川豊子合譯、内題「聖書の譚」明治二十一年十一月、基督教教書
類會社)等。また、仁田健之吾「父義野野史の一生」(『西洋雜纂』
平成十年九月一日千葉・里中「鑑別里中義書」所収)がある。